

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

平成26年2月10日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 辻 井 昭 雄 様

所属部局・研究科 教育学研究科

職 名・学 年 博士課程2年

氏 名 古 見 文 一

助成の種類	平成25年度・若手研究者在外研究支援・国際研究集会発表助成		
研究集会名	16th European Conference on Developmental Psychology		
発表題目	Do executive function skills or theory of mind abilities predict preschoolers' role-		
開催場所	Lausanne, Switzerland		
渡航期間	平成25年 9月 2日 ~ 平成25年 9月 8日		
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有()		
会計報告	交付を受けた助成金額	200,000円	
	使用した助成金額	200,000円	
	返納すべき助成金額	0円	
	助成金の使途内訳	参加費	36,251円
		渡航費の一部	163,749円
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 国際学会は渡航費、参加費などの出費が大きいため、大学院生には参加が厳しいものとなっておりますが、助成を頂けたことで参加することができました。ありがとうございました。国際学会に出席、発表することは、海外の研究に触れて刺激を受けるとともに、京都大学で行っている世界レベルの研究を発信するために大変重要であると思っております。御団体のこのような助成のおかげで、出費の関係であきらめていた国際学会への参加が可能になることは研究者にとって非常にありがたく、このような助成を続けていただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。		

平成 25 年度京都大学教育研究振興財団
国際研究集会発表助成報告書

京都大学大学院教育学研究科
博士課程 2 年
古見文一

【参加学会の概要】

報告者は、2013 年 9 月 2 日から 9 月 7 日にかけて、スイスのローザンヌで開催された 16th European Conference on Developmental Psychology に参加し、発表を行った。

European Conference on Developmental Psychology は 2 に年に一度開催される発達心理学の学会であり、ヨーロッパの発達心理学者を中心に世界中から参加者が集まる学会である。報告者の専門とするトピックは“心の理論”研究であり、イギリスを中心にヨーロッパで盛んに研究が行われているため、この学会に参加することは報告者にとって大きな意義がある。

【得られた成果】

本学会に参加することで以下のような成果を得ることができた。

(1) 研究者との交流

本学会では、多くの研究者と交流を行うことができた。ヨーロッパの発達心理学者と議論を行い、様々な示唆を得ることができたことは非常に大きな成果である。また、本学会は日本人の参加者も多く、これまで国内の学会で出会ったことのなかった日本人研究者とも交流を持つことができ、その後もメールのやり取りなどを行い、互いに意見交換等を行っている。日本の研究を発信するという面においても日本人研究者とも交流を深めることができたことは有意義であったと言える。

(2) 研究内容へのフィードバック

報告者はこの学会では、これまで外部に発表したことのない内容を発表した。また、報告者がこれまで行ってきた研究とは異なる分野の研究であったため、様々な視点から多くの研究者にフィードバックを与えてもらったことは今後の研究にも役立つと考えられる。また、ディスカッションを通して議論をおこなう力も養うことができた。これは大学院生である報告者が今後、

研究者として様々な国の研究者と交流を行うために必要不可欠なものである。これらの経験は非常に大きな意義があったと考えられる。

【謝辞】

本学会で発表するにあたり、京都大学教育研究振興財団に研究助成を頂きました。深く感謝申し上げます。